

<b>教育目標:</b> ○進んで学ぶ子 ○心を磨く子 ○健康に過ごす子 (わかば学級)○得意なことを頑張る、苦手なことにも挑戦する子 ○友達と仲良くする子 ○きまりを守る子 ○自分のことは自分でする子
<b>目指す学校像:</b> 毎日通うのが楽しい学校、当たり前前ができる学校、見える学校・話の出来る学校
<b>目指す児童・生徒像:</b> 自らを高め、互いに支え合い、楽しく充実した学校生活を送ることのできる児童
<b>目指す教師像:</b> 指導力に優れた教師、児童、保護者、地域から信頼される教師、組織的な学校運営にすすんで参画できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
確かな学びの定着	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成する。 ○主体的、対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善を推進する。	○「授業改善推進プラン」をもとにした授業改善を図り、基礎・基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。	週ごとの指導計画を作成し、指導と評価の一体化を図り、授業改善を推進する。	4	2	4	4	「わかる、できる、楽しい」授業を行うために、さらなる授業改善を行う。一人一人の学習の理解度や定着度を把握し、個別支援の充実を図る。	今後も一人一人の児童に合わせた指導・支援をしてほしい。自分の考えを言語化し、根拠をもって書けることが大切。ICTの活用とバランスを取りながら、文章を書く活動を充実させてほしい。
			一人1台のタブレットやICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	3	2	4	3	タブレット端末やデジタル教科書を効果的に活用できるよう、教員は研修や研究での学びを日常の実践に生かす。パイロットクラスを設定し、新たな取組に挑戦する。	授業では児童が関心をもって意欲的にタブレットを活用している姿が印象的だった。タブレットで学習している児童の表情がよい。先生方の言葉かけなどの支援が適切だった。
			国分寺学の創設に向け、地域人材や地域環境を活用した体験的な学習を再構築する。	1	1	4	4	国分寺学の推進に向け、地域人材、地域環境についての情報を市内で共有する。体験的学習の再構築を目指し、地域人材の開拓や教材の開発を積極的に進める。	国分寺学の推進に向け、総合的な学習の時間等では独自にカリキュラムを作っていく必要がある。その際には公民館の利用団体から地域人材を確保するなどし、活動を充実させてほしい。
豊かな人間性の育成	○「全ての人大切にされる街宣言」の具現化に向け、児童の豊かな心の育成や望ましい人間関係を構築する力を育成する。	○人権教育や生活指導の一層の充実を図り、いじめを予防し、児童の規範意識を高める。 ○児童の豊かな感性を育み、道徳性の向上を図る。	組織的にいじめ問題に対応し、児童が主体的にいじめ防止に取り組む活動の充実を図る。	4	3	3	3	今後もアンケート調査を通し「いじめ対策委員会」を活用した組織的な早期発見・早期対応を行う。児童会活動を中心にいじめ防止のための活動を充実させ、いじめの未然防止に取り組む。	いじめの未然防止策として、児童会のいじめ予防活動が定着するとよい。いじめの抑止として、定期的の実施していくと効果的であろう。またいじめについては家庭の協力を得ることも重要である。
			・「考える道徳、議論する道徳」を推進する。 ・発達段階に応じて学級会活動を年に10回以上実施する。	4	2	3	3	指導の工夫やICTの活用を通して、自分の考えをもち、友達と伝え合いながら学ぶ道徳を行う。特別活動部の指導をもとに、効果的な「学級会の進め方」をすべての教員が学び、実践に生かす。	授業を参観したときには、児童が主題についてよく考え、話し合う姿が見られた。道徳授業地区公開講座等、保護者や地域が授業の様子を知る機会をもつことが重要である。
開かれた学校づくり	○「見える学校・話のできる学校」となることで、家庭・地域と課題を共有しその解決を図る。	○あらゆるツールを活用し、学校の発信力を高め、保護者・地域との連携を深め、協働関係を築く。	・学級だよりを毎月1回発行する。 ・二小ブログを毎日更新する。	3	1	4	4	月1回以上の「学級だより」と発行と毎日の「二小ブログ」の更新を確実にし、引き続き学校の取り組みや児童の様子を具体的に伝えていく。	学校便りを読むことで、学校の取組を理解することができる。学級便りは、発行頻度が多いほど、児童の様子が分かり、保護者は安心する。多忙な中ではあるが、先生方にはぜひ学級便りを発行し、学級の様子を伝えてほしい。
			保護者・地域に学校を公開し、事後のアンケートを活用して教育活動の改善を図る。	4	2	2	2	アンケート結果を生かし、具体的な改善策を提案、実施していく。ボランティア活動等を通し、保護者・地域と協働し児童の育成を図る。	今後二小もコミュニティスクールとなるため、学校と地域がさらに連携していくことが重要である。また来年の創立80周年記念行事についても、古くから地域に住んでいる方々の協力を得られるよう地域としてバックアップしていく。

